

令和6年度 途上国森林ナレッジ活用実証調査（委託業務）

公募要領

1. 総則：本業務の公募は、本要領の通りです。また本募集は、「令和6年度 途上国森林ナレッジ活用促進事業」（以下、「ナレッジ事業」と記述する）の実施者である公益財団法人 国際緑化推進センター（JIFPRO）が事業の一環として行います。本業務も同事業の一環となります。なお、当事業は林野庁の補助事業です。

2. 応募期間：

1) 提案書提出表明書：公募開始日～2024年5月16日（木）午後2時まで

2) 応募書類：公募開始日～2024年6月3日（月）午前11時（必着）まで

3. 背景

ナレッジ事業について：当事業では、途上国の森林資源を持続的に利用する上での「課題」の解決に向けた実証調査を、日本にある「ナレッジ」を活用して行い、途上国が森林資源を持続的に活用して住民の生計向上に資する取組事例を創出し、普及しています。それにより、民間セクターによる途上国の森林減少・劣化の抑制、持続可能な森林経営の促進を目指しています。

・途上国における持続可能な森林経営の実現は、気候変動の緩和、生物多様性の保全や違法伐採の抑制等に貢献するとともに、それらを通じて地域の安定的な生活及び生産環境を支えています。また途上国では、森林の減少や劣化を抑制するために、森林の保全を図りつつ地域住民の生計向上を図る取組が進められています。

・途上国には有用な森林資源があっても、その加工や、活用方法、市場へのアクセスや付加価値向上に関する技術や知見が十分でなく、持続的かつ自立的な取組となっていない事例が多くあります。日本の民間事業者等では、そこで役立つ森林整備や森林製品の生産等のナレッジ（知見・技術）等を保有していると考えられます。（当事業では、上記下線内容等を含めて「ナレッジ」と称します。）

4. 募集の要旨

1) 上記背景に合致する単年度の実証調査を企画提案し、採択となる団体は、「仕様書」と「契約書」に従って実証調査を行い、その必要経費支援を受けられます。

- 業務実施期間：契約締結日～2025年3月14日（金）
- 経費（委託金額）上限：4,000千円（税込）

2) 企画の要点（全体の詳細は「提案書」様式にてご確認ください）

- 応募団体が携わる途上国*の森林資源を利活用する取組（ビジネス）で、支障となっている特定の「課題」・・・A
*：森林減少・劣化が生じている開発途上国が対象国（地域）となります。本事業は地域的なバランスも考慮して実施しています（別紙の過去事例を参照ください）
- 日本にある特定の「ナレッジ」（Aの解決に資する技術、ノウハウ等）・・・B
※ 注：ナレッジは複数の活用が可能です
- （Bを活用・適用してAを解決・改善して目指す）途上国が森林資源を持続的に活用して住民の生計向上に資する取組につながる、年度成果「目標」・・・C
- Cに至る「実証調査」の計画（業務実施期間内で実施できる計画）
※ 注：応募団体の事業の完了までをスコープとしていません

5. 応募団体の要件

次の要件を全て満たす民間企業・団体とします。

- 途上国でのナレッジ活用の実証調査等を実施できる能力を有する。
- 本業務を行う意思および具体的計画を有し、かつ、仕様書に定める業務内容を的確に実施できる能力・人員を有する。
- 本業務に係る経理およびその他の事務について、適切な管理体制および処理能力・人員を有する。
- 公募資料の「契約書」（案）第28条（反社会的勢力の排除）に反しない。
- 実施に当たり、みどりの食料システム戦略に基づき、最低限行うべき環境負荷低減の取組を実施することについて、検討又は努力等する。

6. 経費に係る留意事項

- 1) 提案金額は、対象経費等の精査により、減額となる場合があります。
- 2) 本業務の対象とならない経費
 - 建物等施設の建設、不動産取得に関する経費
 - 本業務の実施に関連のない経費
 - 業務実施団体に勤務する有給の役員および常勤職員に対する謝金
 - その他「経理処理ガイドライン」に記されていないもの

7. 応募方法

- 1) 様式・説明資料をダウンロード (jifpro.or.jp/ の「お知らせ」内本募集のページ)
- 2) 「提案書提出表明書」を提出します (Eメール)。

※ 題名は「ナレッジ提案書提出表明 (団体名)」としてください。

- 3) 以下応募書類を作成・提出します (Eメールまたは郵送等)。

- (1) 提案書 (様式) 印入り PDF または原本
- (2) 申立書 (様式) 印入り PDF または原本
- (3) 経費の付随書類
- (4) 団体概要資料 (会社案内等) ※ 紙の場合は2部
- (5) 定款またはこれに相当する団体の規約

※ 様式に従ったソフトを使って作成してください。

※ 経費見積 (様式) は「経理処理ガイドライン」に従い、本業務実施に必要な経費を積算してください。

※ Eメールは題名を「ナレッジ応募R6 (団体名)」としてください。

※ 郵送等は、提案書はクリップ等直ぐに外れる留め具を使ってください。

- 4) 送付・受付先

- Eメール: 下のアドレスの「*」を「@」に変え、同報してください。
masamichi*jifpro.or.jp, asako*jifpro.or.jp, funo*jifpro.or.jp
- 郵送等: 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 5F
(公財) 国際緑化推進センター (ナレッジ募集係)

- 5) 注意事項

- 期間内 (2 参照) に応募書類が届かない場合、虚偽の記載をした場合は、無効とします。
- 応募要件を有しない者が提出した応募書類は、無効とします。
- 応募書類は、変更・差し替え・取り消しができません。また返却いたしません。
- 応募にかかる諸費用は、応募者の負担とします。

8. 審査・契約の流れ

- 1) 審査委員会が応募書類を評価項目に基づいて審査し、より優れた案件を選出します。選考過程でプレゼンテーション等を求めることがあります。全ての応募が基準未満の場合、採択案件はなしとします。
- 2) 審査結果は応募団体毎に通知します。
- 3) 選出された団体は、業務交渉等を経て、委託業務契約に係る手続きを進めます。契約団体名は公開されます。

9. 経費の支払い

委託業務の経費は、実績報告に基づいて精算払いをします。必要に応じて、経費の一部を概算払い支払いとすることもできます（詳細は「経費処理ガイドライン」参照）。

10. 業務実施者の責務など

業務実施および経費の執行に際しては、以下の事項に留意・従ってください。

- 1) 業務の推進：業務実施者は、業務全体の進行管理、業務推進全般についての責任を持っていただきます。
- 2) 業務成果等：本業務により得た成果は、仕様書に指定の期日までに報告してください。なお、JIFPRO は成果を無償で活用でき、原則として公開できるものとします。
- 3) 経費の使用結果：本業務終了後すみやかに報告をしてください。
- 4) 知的財産権の帰属等：本業務により得られた知的財産権*の取り扱いは、協議の上決定します。また特に協議が無いものは、JIFPRO に帰属するものとします。
（*：特許権、実用新案権、意匠権、プログラムおよびデータベースに係る著作権など権利化された無体財産権及びノウハウ等）

11. その他

- 1) 本募集は、単年度で実証調査業務をする団体を募集するものです。業務期間内に実施・達成が見込まれる内容を提案してください。
- 2) 委託内定後に省庁の許認を受けて契約をします。
- 3) 委託内定後に、業務実施内容または収支予算に大きな変更が生じた場合、委託経費が支払われないことがあります。
- 4) 業務期間中に JIFPRO も現地調査に部分的に同行します。
- 5) 提供いただいた個人情報、提供者の同意がある場合または正当な理由がある場合を除き第三者に開示または提供しません。

12. お問い合わせ先：（公財）国際緑化推進センター 山本

- asako * jifpro. or. jp
- TEL： 03-5689-3450（9:30-12:30、13:30-18:00）
※ テレワーク等により担当が不在の日もありますが、月、火、木は、比較的事務所におります。

別紙（参考）

I. 本業務の考え方

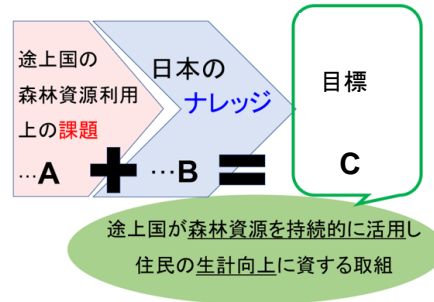


図. 実証調査イメージ

II. 過年度事例

表. 事例

令和	案件名	国	使用した日本のナレッジ
5年	シナモンのオイル抽出後未利用残渣を用いた有機肥料作成による持続可能なシナモン林経営モデルの構築	ベトナム	樹皮を主原料とし、土壌改良資材として使われる「バーク堆肥」の製造技術
5年	カカオ生産地のマッピングと QR タグを活用したトレーサビリティシステム	ガーナ	QR コード ※「QR コード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です
4年	地域住民による生産材を用いた耐火・耐震建築による都市の木造化	インドネシア	木造建築の接合金物工法「KES 構法」、木材を耐火部材化した「COOL WOOD」
4年	木質系廃材等のバイオマス燃料化による森林保全	カンボジア	もみ殻より固形燃料を作る「グラインドミル」の技術
3年	熱帯性早生材の木材加工	タンザニア	楽器製造の木材加工技術
3年	サチャインチの食品開発	ペルー	粉末加工技術、大豆「おから」の利用
2年	竹の加工技術	ミャンマー	竹材の湿式法「油抜き」加工、竹工機械（竹剥ぎ機）、竹材の防虫技術
2年	チョウ類飼育販売事業	カンボジア	チョウを用いた環境教育、環境指標生物

● 事例情報掲載ページ

- <https://jifpro.or.jp/chiepro/model/>
- <https://jifpro.or.jp/infomation/21713/>
- <https://jifpro.or.jp/infomation/11253/>
- <https://jifpro.or.jp/infomation/10600/>
- <https://jifpro.or.jp/infomation/5106/>

※ 過去の事例にとらわれない別国・新視点・異テーマを奨励します